

柁城校区コミュニティ協議会だより



平成29年8月1日

第10号

発行責任者 今村 忠

「文化講演会」を平成29年6月25日に開催 111名の参加をいただきました。

演題：「戦争と終戦後の加治木のまち」 講師：川寄 猛 先生

私たち柁城校区コミュニティ協議会の「まちづくりプラン」は、[歴史と文化を語り継ぎ心豊かに学び 生活できる 住みよいまち柁城]を活動のスローガンとして掲げている。その一環として今年度は標記の講演会を企画した。講師の川寄先生は元県立高校長で平成9年に定年退職され、今なおお元気で多方面に活躍されています。加治木で生まれ育ち、太平洋戦争時も加治木に住み悲惨な戦災の体験もされた加治木の生き字引的存在の方でもあります。戦後70余年の月日が流れ当時の戦災の状況を語れる人も少なくなってきた。歴史を学び後世に語り継いでゆくことはとても大切なことであると考え、この講演会を文化地域推進部で企画し開催の運びになった。先生の豊かな学識と体験に基づく人間味あふれる講話に参加者は皆引き込まれ有意義な講演会でした。梅雨真ただ中のあいにくの天気にもかかわらず会場は111名の参加者でいっぱいになりました。〔6/25〕



講演中の川寄 猛先生



加治木空襲の悲惨さを静かに聞き入る参加者の皆様

加治木のまちを ***過去**☞・・・ ***現在**☞・・・ ***未来**☞・・・をどうとらえるか？

***過去**☞・・・

***昭和20年** 第二次太平洋戦争は激化しついに8月11日加治木大空襲で。

罹災戸数703戸・罹災人員2,895人・死者27名（内、中学生15名）。

官庁も焼失、生活機能もまったく失ってしまった。

10月29日引揚げ船第一船が加治木沖官庁に入港。26,720名の引揚者。

その内300名（殆どが10歳未満の子ども）が栄養失調や病気で死亡。

曾木豊町長の下で、加治木町復興計画が策定された

（鹿児島港破壊のため加治木港に引揚げ船が集中した）

***現在**☞・・・過去の歴史をひもとき祖先の偉大さを学び、戦争の悲惨さを改めて知り

元気に日々の暮らしが出来ることに感謝。

***未来**☞・・・歴史と文化を語り継ぎ、住みよいまち「柁城」の将来像を見出すために
校区活動（コミュニティ）をより充実させるよう皆で協力して行きたい。

灯篭づくり～精矛神社島津義弘公没後400年祭に向けて 柁城校区コミュニティ協議会青少年育成部会

平成31年に精矛神社が島津義弘公の没後400年を迎えるにあたり、当協議会では「灯篭づくり」を通して加治木の開祖ともいわれる義弘公の遺徳を学び考える契機にしようと標記の行事を計画しました。当日は義弘公の家老の務めたを曾木家の24代目・曾木重隆様より六月灯や義弘公に関する講話を拝聴し、加治木の歴史について知るとても良い機会になりました。49名の親子が参加し、親子・子ども同士・異年齢のふれあいの中お互いに助け合い協力し合っただくさんの灯篭が出来上がり意義ある取組みになりました。



多くの人に支えられ助けられて素晴らしい灯篭ができあがりました。

精矛神社 六月灯

平成29年7月16日(日)



参道の両側にずらりと飾られた灯篭群

宮司の島津義秀様の薩摩琵琶や天吹・二胡・ジャズ演奏に加えて義弘公にちなんだ舞踏劇等の奉納舞台もあり例年にない賑わいだった。柁城コミュニティから60余基を奉納しました。



自分の作品はどこかなー
見つけて記念撮影(良い思い出作りです)

<< ゴミ袋に記名しましょう。自分のごみに責任を >>

<< 自治会加入促進中 貴方も仲間になりましょう。>>